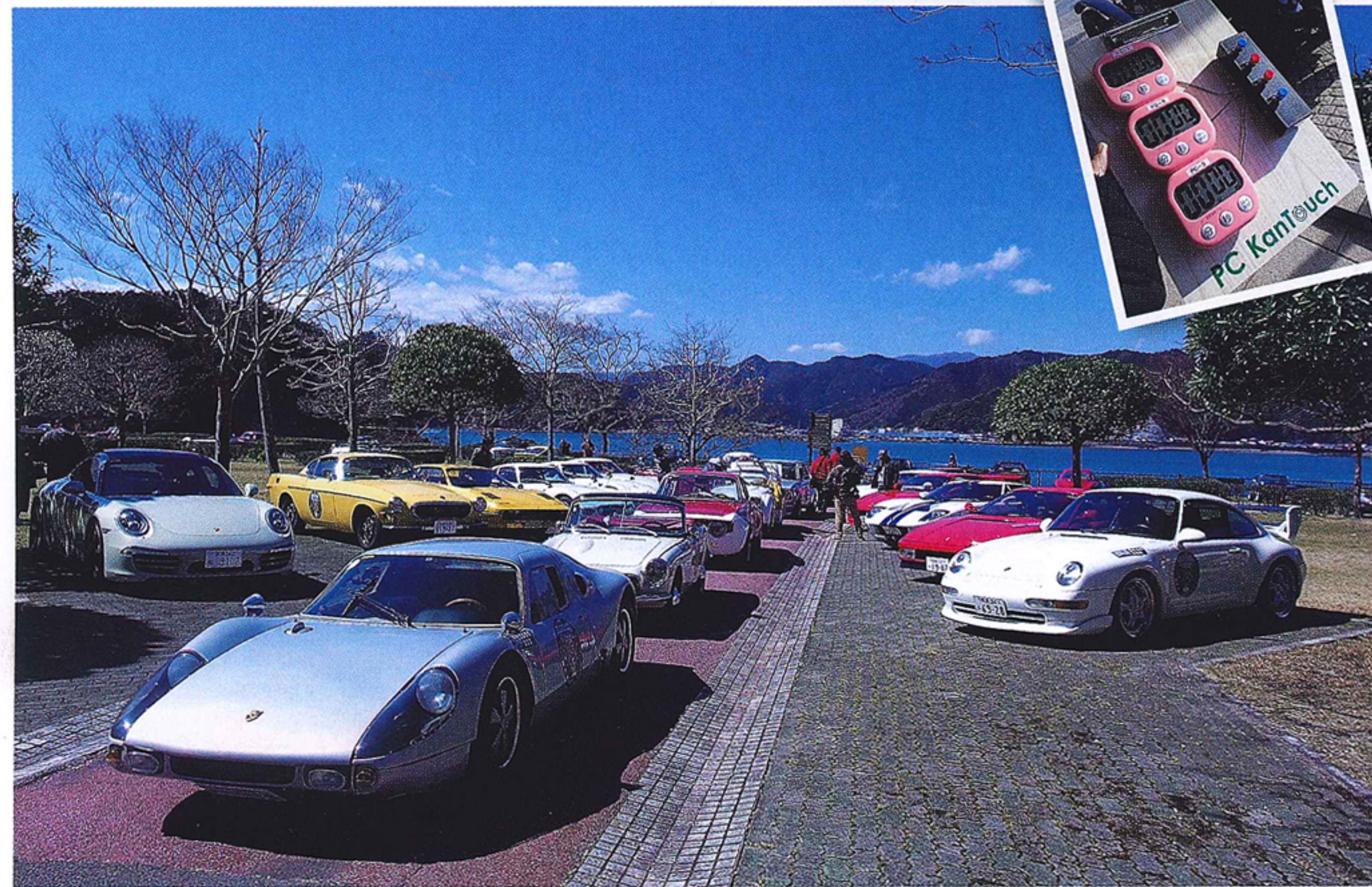


Historic Car Meeting Vol.12 ISESHIMA CLASSIC CAR SUMMIT

■第12回ヒストリックカーミーティング 伊勢志摩 クラシックカーサミット

◎2016年3月12日(土)-13日(日)
◎三重県 中南部(伊勢志摩地方)
◎「ヒストリックカーミーティング実行委員会」 <http://www.historiccarmeeting.com/>

text & photo: Hidenori TAKAKUWA (高桑秀典)
取材協力: ヒストリックカーミーティング実行委員会



各スタンプポイントでは、用紙に押印するのではなく、伊勢志摩サミットに参加するG7各国の国旗ステッカーが順番に貼られていった。



忙しい公務の合間をぬって、三重県の鈴木英敬知事がスタート地点である三重県総合博物館に駆けつけ、スタートフラッグを振り下ろした。



国際会議を応援するイベントだったため、イメージキャラクターとしてモデルのジェニーさんを抜擢。オフィシャルスタッフとして活躍した(撮影:実行委員会)。

伊勢志摩サミットのプレイイベント

"大切な人と愛車で巡る極上のクルマ旅"をコンセプトとしている『ヒストリックカーミーティング』は、競技性を維持しながらも、エンターテインメントとの融合や美食の追求といった魅力的な要素を盛り込んできた。その結果、いつまでも記憶に残る楽しいイベントとして発展、定着。数多くのファンから支持されている。

ヒストリックカーミーティングの走行ステージといえは伊勢志摩が有名だが、ご存知のように2016年は当地にて伊勢志摩サミットが行われる。そのため、これまで以上に三重県および志摩市と強力なタッグを組み、今回のイベントではサミットのプレイイベント的な催しとして開催された。

例年の12月ではなく3月に実施し、今回は"クラシックカーサミット"と銘打って盛大に開催されたわけだが、公式に認められた伊勢志摩サミット応援事業で

あったため、スタートフラッグを振り下ろしたのは三重県の鈴木英敬知事であった。

スケジュールは、これまでと同じように1泊2日。初日の夜のパーティには、三重県の石垣英一副知事を始めとする錚々たる顔ぶれが参加した。また、女性に優しいイベントとしての本分は今回も継承され、女性エンタラントに真珠のネックレスなどが贈られている。次回は9月にジャパングラシックツアー(名古屋〜松本)が開催される予定だ。

DAY1

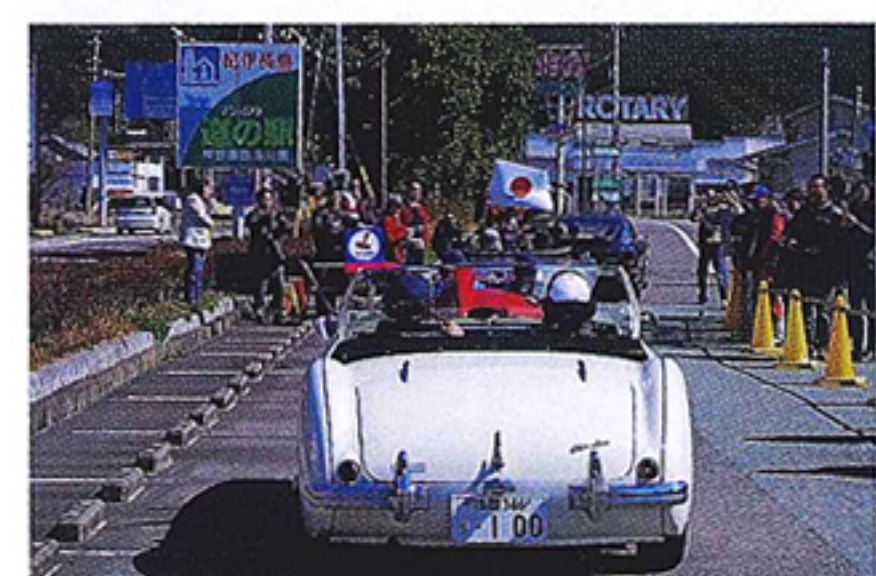


参加車はスタート地点の三重県総合博物館に集合し、受付、車検、ドライバーズミーティングの後、順次スタートしていった。

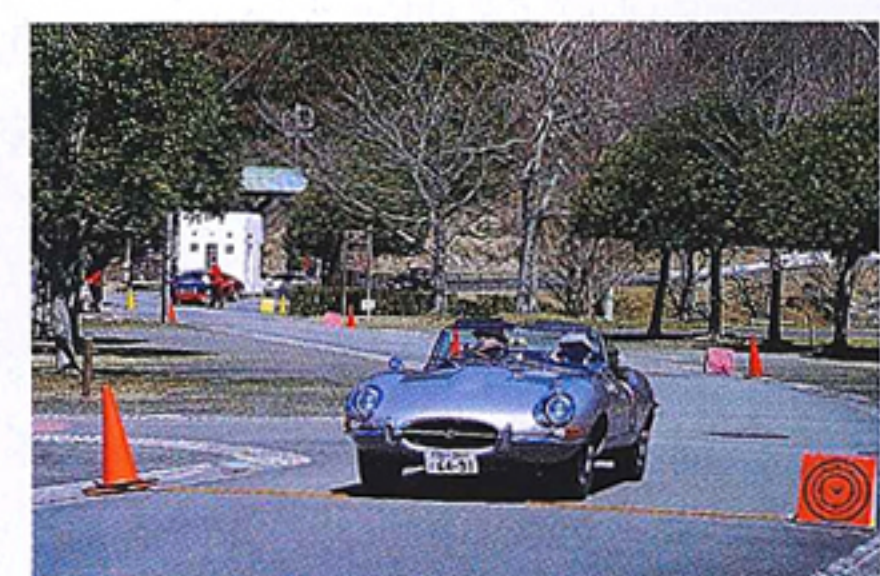


1980年までに製造されたクルマに参加資格がある。主催者の配慮でPC競技に慣れないビギナー向けにPCカンタッチを用意。

スタート後、一般道を少しだけ走行した参加車は津インターから伊勢道に入った。その後、紀勢道を尾鷲方面へ向かい、紀伊長島出口で一般道に再び合流。この区間では、カムシンの豪快な走りを堪能することができた。

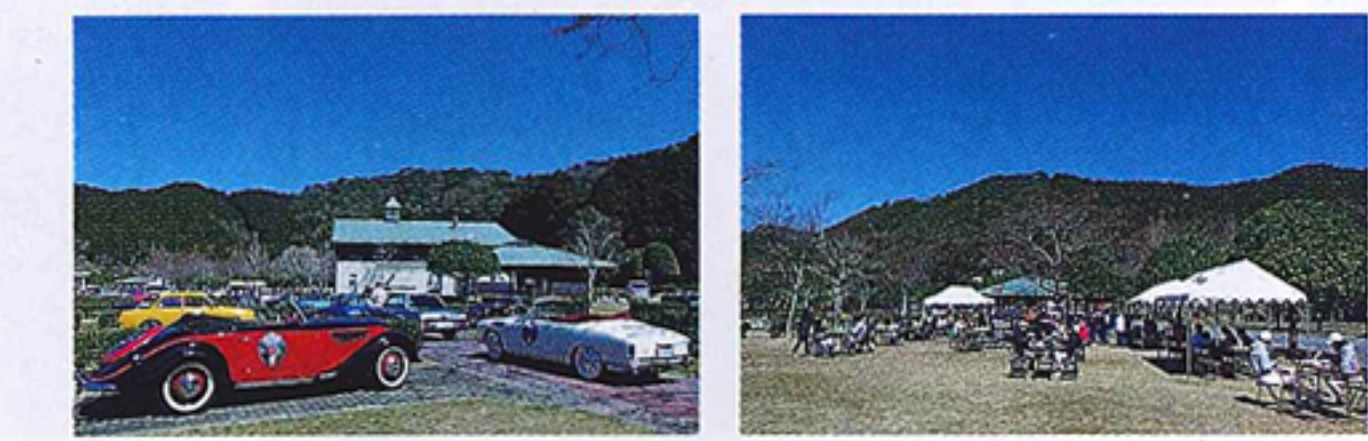


最初のスタンプポイントは道の駅まわんに設けられた。各車の到着を待っていたスタッフに国旗ステッカーを貼ってもらう。

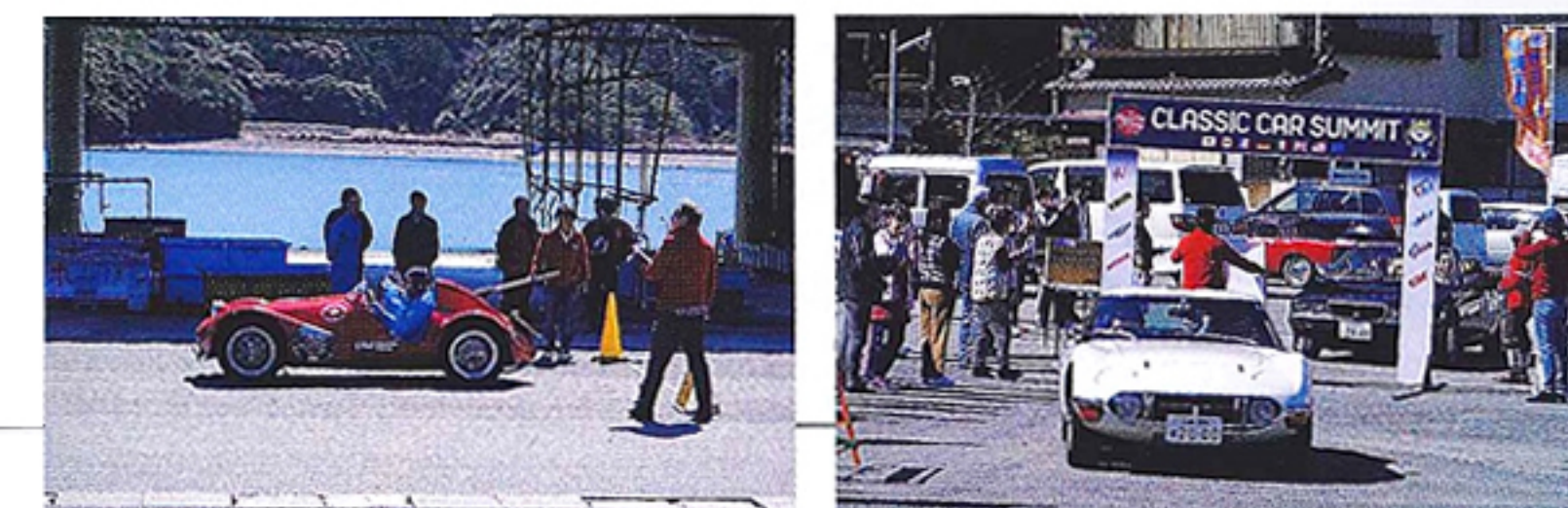


道の駅から向かったのは孫太郎オートキャンプ場で、初日最初の3連続PCが行われた。昼食後に2連続PCに挑み、当地を離れた。

孫太郎オートキャンプ場での昼食は海鮮モノのバーベキュー。海沿いの好立地および暑いぐらいの晴天のもとでカキを始めとする海の幸を堪能することができた。



昼食後、次のPC競技会場を目指し、国道260号〜南島方面というルートにて各車がワインディングロードを駆けぬけた。



賢浦漁港で2連続PCをこなした参加車は、2番目のスタンプポイントである阿曾浦漁港に立ち寄った。その後、次なるスタンプポイント/レストコントロール(ティータイム)に設定された風光明媚な志摩地中海村で記念写真を撮影。小休止した後、エンタラントたちは再び愛車を走らせ、次郎六郎駐車場にて4連続PCに臨んだ。現行型ロードスターも熱い走りを見せた。

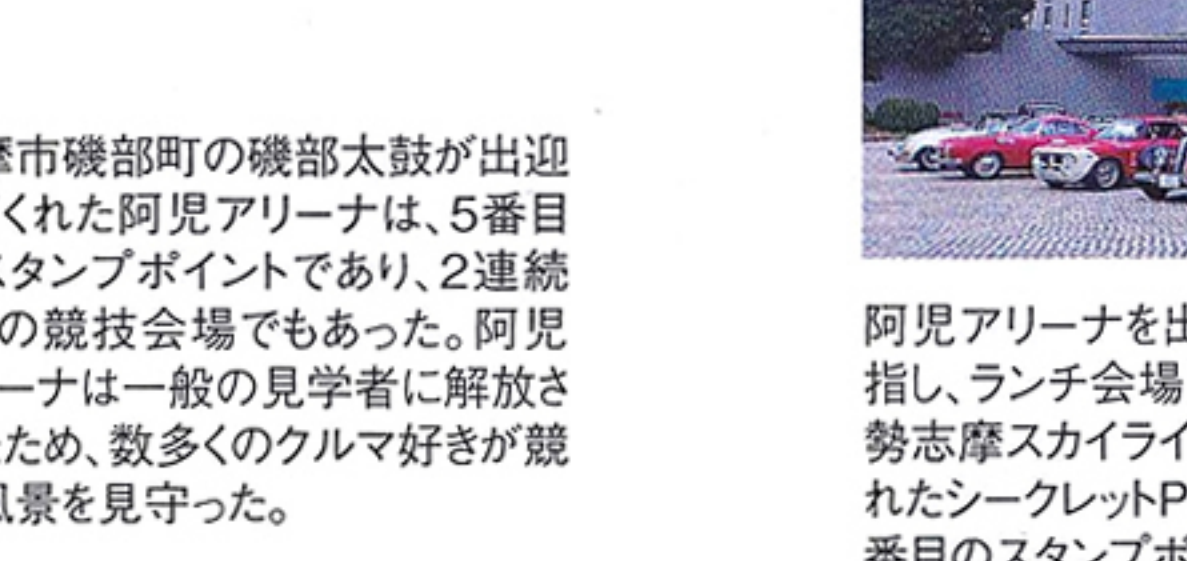
DAY2



ホテル近鉄アクアヴィア伊勢志摩の正面玄関前が2日目のスタート地点。次郎六郎駐車場にて4連続PCを行い、志摩大橋を通過して4番目のスタンプポイントである御座白浜海岸の海女小屋 磯人に立ち寄った。



海女小屋 磯人の中ではスペシャルイベントとして、1台につき1名のみ真珠のアクセサリーを作る特別体験を楽しめた。また1台につき1回のみクジ引きにもチャレンジできた(アタリが出たら海の幸を進呈/ジェニーさんが活躍)。

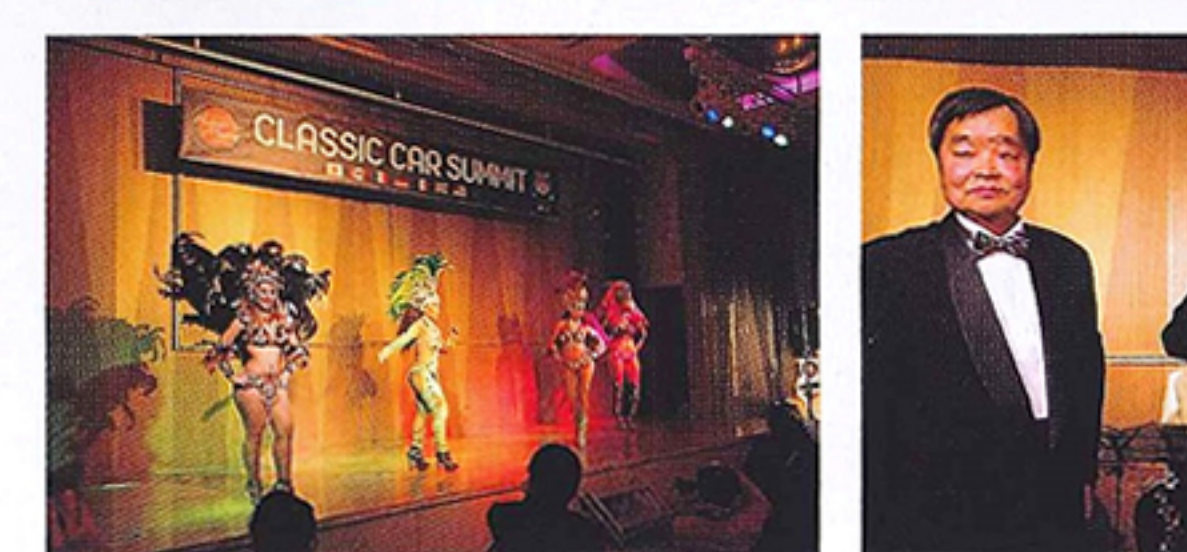


志摩市磯部町の磯部太鼓が出迎えてくれた阿児アリーナは、5番目のスタンプポイントであり、2連続PCの競技会場でもあった。阿児アリーナは一般の見学者に解放されたため、数多くのクルマ好きが競技風景を見守った。

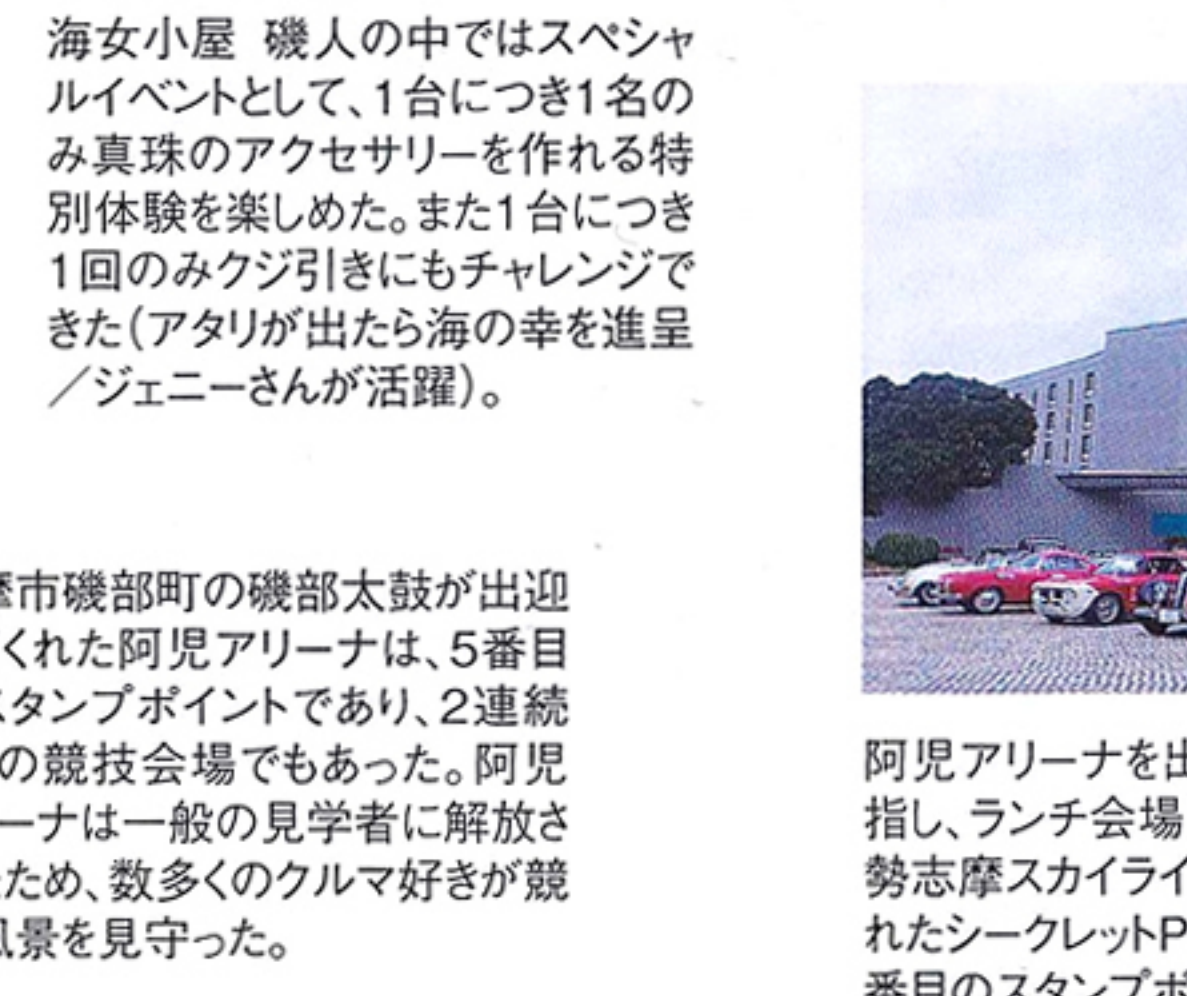


表彰式では、エンタラントを代表してボルボ P1800Eで参加した木村氏(ボルボ・カー・ジャパン代表取締役社長)が挨拶。旧知の友人とプライベートで参加したヒストリックカーミーティングの感想を述べた。

開催地域との文化交流を目指しつつ、エンターテインメント性と美食を追求。



夜のパーティ前に、大口志摩市長が伊勢海老を調理。牛鬼太鼓の実演も楽しめた。三重県の石垣副知事が事務局に感謝状を進呈。上村真珠は女性参加者にネックレスを贈呈した。今回もサンパ隊が登場。フットギアコンテスト(人間線踏み)は服部/安藤組が制覇。



阿児アリーナを出た参加車はパールロードを目指し、ランチ会場となるタラサ志摩まで移動。伊勢志摩スカイラインでは平均速度のみが指示されたシークレットPCを実施。山頂展望エリアは6番目のスタンプポイントだった。



伊勢志摩スカイラインを走破後、7番目のスタンプポイントであるブランカスイツガーデンに立ち寄った。ここではミス伊勢志摩がお手伝い。ゴール地点の二見シーパラダイスでは、天使の歌声を持つ「アース」や、お伊勢さん菓子博2017公式キャラクターの「いせわんこ」が出迎えてくれた。今年は67台が参加した(申し込み台数は80台だった)。

各クラスの上位入賞者が表彰された。他、数多くの特別賞も用意された。おもてなしの精神を大事にしているイベントなので、全エンタラントに豪華なお土産をプレゼント。

